



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月10日

上場会社名 沢井製薬株式会社

上場取引所 東

コード番号 4555 URL <http://www.sawai.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 澤井 光郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート部門担当 (氏名) 小玉 稔

TEL 06-6105-5711

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日

平成23年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	31,911	4.3	6,890	7.7	7,021	27.7	4,374	34.4
23年3月期第2四半期	30,586	27.6	6,396	81.2	5,499	57.8	3,254	62.6

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 5,105百万円 (145.1%) 23年3月期第2四半期 2,082百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	276.59	227.82
23年3月期第2四半期	207.10	202.35

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	121,055	54,937	45.3
23年3月期	117,056	50,863	43.4

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 54,841百万円 23年3月期 50,745百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	40.00	—	70.00	110.00
24年3月期	—	60.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	60.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	69,000	8.1	14,500	6.7	14,400	13.4	8,300	15.5	524.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	15,824,100 株	23年3月期	15,807,800 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	712 株	23年3月期	712 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	15,815,195 株	23年3月期2Q	15,712,884 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・決算補足説明資料は、11月10日(木)に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成23年4月～9月）におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による厳しい状況から持ち直しが見られたものの、電力供給の制約や原子力発電所災害の影響のほか、欧米の財政危機を背景とした円高、株価低迷など、先行きが不透明な状況で推移しました。

ジェネリック医薬品業界におきましては、昨年4月から実施された「後発医薬品調剤体制加算」の見直しを含む制度変更等の使用促進策にもかかわらず、ジェネリック医薬品の数量ベースシェアは23%程度と頭打ちの傾向が見られます。また、世界最大手ジェネリック医薬品メーカーによる国内有力ジェネリック医薬品メーカーの全株式取得、国内外大手新薬メーカーによる長期収載品部門とジェネリック医薬品部門の一体化による営業力強化など、競争環境の厳しさが増しました。

このような状況下、最終年度となった中期経営計画「M1 TRUST」の基本方針である「市場成長率を上回る売上高の伸長」、「徹底したコストコントロールと効果的な戦略投資による経営体質のさらなる強化」、「ゆるぎないサワイブランドの構築」に基づき諸施策に取り組みました。特に営業面では6月に収載された新製品を中心とした販売活動に努め、生産面では業界No.1の安定供給体制の維持・構築に向け9月末に新関東工場建設に着工しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は31,911百万円（前年同期比4.3%増）となりましたが、利益面では、原価率の改善や販売費及び一般管理費のコントロールにより、営業利益は6,890百万円（前年同期比7.7%増）となりました。また、前年同期に計上した806百万円の社債発行費が今期は無いこと等もあり、経常利益は7,021百万円（前年同期比27.7%増）、四半期純利益は4,374百万円（前年同期比34.4%増）と大幅に増加しました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は78,429百万円となり、前連結会計年度末に比べ934百万円増加いたしました。これは主に、たな卸資産が3,354百万円増加したことと、現金及び預金が1,417百万円、受取手形及び売掛金が1,004百万円減少したことによるものであります。固定資産は42,626百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,064百万円増加いたしました。これは主に、有形固定資産が1,864百万円、投資その他の資産が687百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、121,055百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,999百万円増加いたしました。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は26,986百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,175百万円増加いたしました。これは主に、短期借入金が1,492百万円増加したことによるものであります。固定負債は39,131百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,250百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金1,336百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、66,117百万円となり、前連結会計年度末に比べ74百万円減少いたしました。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は54,937百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,074百万円増加いたしました。これは主に、四半期純利益4,374百万円、その他有価証券評価差額金が731百万円増加したこと及び剰余金の配当1,106百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は45.3%（前連結会計年度末は43.4%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は21,388百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,582百万円増加いたしました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益7,009百万円、減価償却費1,665百万円、売上債権の減少1,004百万円、たな卸資産の増加3,354百万円、未払金の減少1,168百万円、法人税等の支払額2,987百万円を主因として2,998百万円の収入（前年同四半期比72百万円の収入減）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の純減による収入3,000百万円、有形固定資産の取得による支出2,818百万円、無形固定資産の取得による支出724百万円を主因として537百万円の支出（前年同四半期比7,883百万円の支出減）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純増1,500百万円、長期借入金の返済による支出1,344百万円、配当金の支払額1,106百万円を主因として878百万円の支出（前年同四半期比29,023百万円の収入減）となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における当社売上高の伸長率は、東日本大震災の影響等により当初予想を上回る医薬品使用の抑制が続いたことや、ジェネリック医薬品の数量ベースシェアが23%程度で推移し、業界全体としては使用が頭打ちとなっている状況が続いたことから、通期連結累計期間の予想伸長率に比べ低いものとなりました。しかしながら、夏場以降、売上の伸びが上昇傾向にあることと、11月に収載予定の大型新製品が寄与することにより、上期に比べ下期の売上高が伸長すると見込んでおります。

このような状況を総合的に勘案し、平成24年3月期の連結業績予想につきましては、売上高を690億円（平成23年5月12日公表値比35億円減）に修正いたしました。なお、利益面につきましては、引き続きコストコントロールに努め、前回公表数値の確保を見込んでおります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号平成22年6月30日)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号平成22年6月30日)を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

これらの会計基準等を適用しなかった場合の前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の金額は、202円35銭であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	30,805	29,388
受取手形及び売掛金	23,284	22,279
商品及び製品	11,593	13,200
仕掛品	4,157	4,813
原材料及び貯蔵品	5,466	6,558
繰延税金資産	1,811	1,866
その他	397	340
貸倒引当金	△21	△18
流動資産合計	77,494	78,429
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	18,278	18,511
機械装置及び運搬具（純額）	7,108	6,689
土地	4,949	4,955
リース資産（純額）	14	11
建設仮勘定	494	2,534
その他（純額）	1,471	1,479
有形固定資産合計	32,316	34,181
無形固定資産		
のれん	65	57
その他	1,083	1,603
無形固定資産合計	1,148	1,660
投資その他の資産		
投資有価証券	5,702	6,435
長期貸付金	17	11
長期前払費用	60	53
その他	379	324
貸倒引当金	△64	△40
投資その他の資産合計	6,096	6,783
固定資産合計	39,561	42,626
資産合計	117,056	121,055

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,849	10,379
短期借入金	2,659	4,151
リース債務	7	6
未払金	7,734	7,358
未払法人税等	3,143	2,845
賞与引当金	1,086	1,058
役員賞与引当金	60	50
返品調整引当金	125	88
売上割戻引当金	792	713
その他	352	333
流動負債合計	25,810	26,986
固定負債		
新株予約権付社債	30,662	30,587
長期借入金	8,161	6,825
リース債務	10	7
退職給付引当金	90	93
役員退職慰労引当金	339	379
繰延税金負債	166	155
負ののれん	12	5
その他	938	1,076
固定負債合計	40,382	39,131
負債合計	66,192	66,117
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,814	11,862
資本剰余金	12,137	12,185
利益剰余金	26,687	29,954
自己株式	△3	△3
株主資本合計	50,635	53,999
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	110	841
その他の包括利益累計額合計	110	841
新株予約権	108	87
少数株主持分	9	8
純資産合計	50,863	54,937
負債純資産合計	117,056	121,055

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	30,586	31,911
売上原価	16,343	16,284
売上総利益	14,242	15,627
販売費及び一般管理費	7,845	8,736
営業利益	6,396	6,890
営業外収益		
受取利息	12	76
受取配当金	8	135
受取補償金	10	5
貸倒引当金戻入額	4	4
その他	33	28
営業外収益合計	69	251
営業外費用		
支払利息	116	87
社債発行費	806	—
その他	43	32
営業外費用合計	966	120
経常利益	5,499	7,021
特別利益		
固定資産売却益	1	—
特別利益合計	1	—
特別損失		
固定資産除却損	56	12
特別損失合計	56	12
税金等調整前四半期純利益	5,444	7,009
法人税、住民税及び事業税	2,044	2,701
法人税等調整額	4	△66
法人税等合計	2,049	2,635
少数株主損益調整前四半期純利益	3,395	4,374
少数株主利益又は少数株主損失(△)	140	△0
四半期純利益	3,254	4,374

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,395	4,374
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,312	731
その他の包括利益合計	△1,312	731
四半期包括利益	2,082	5,105
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,942	5,105
少数株主に係る四半期包括利益	140	△0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,444	7,009
減価償却費	1,491	1,665
社債発行費	806	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,345	1,004
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,722	△3,354
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,828	808
未払金の増減額 (△は減少)	△79	△1,168
その他	456	△27
小計	5,879	5,936
利息及び配当金の受取額	8	136
利息の支払額	△116	△87
法人税等の支払額	△2,700	△2,987
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,071	2,998
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	—	3,000
有形固定資産の取得による支出	△701	△2,818
無形固定資産の取得による支出	△224	△724
投資有価証券の取得による支出	△5,958	—
子会社株式の取得による支出	△1,567	—
長期貸付金の回収による収入	30	6
その他	1	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,421	△537
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,600	1,500
長期借入れによる収入	3,000	—
長期借入金の返済による支出	△1,445	△1,344
新株予約権付社債の発行による収入	29,943	—
新株予約権の行使による株式の発行による収入	337	75
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△628	△1,106
少数株主への配当金の支払額	△455	—
リース債務の返済による支出	△5	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	28,145	△878
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	22,795	1,582
現金及び現金同等物の期首残高	9,474	19,805
現金及び現金同等物の四半期末残高	32,269	21,388

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。